

研究業績（論文）について

提出する研究業績は、以下の要件を満たしている必要があります。申請前に、下記を熟読の上、要件を満たしていることを確認の上申請してください。

研究業績（論文）の要件

臨床腫瘍学に関連した原著論文 ならびに症例報告・治療総説で、peer review system がある **全国誌** に掲載されたもの。掲載論文が医学博士号の審査の対象にされる各医科大学、医学部の発行する雑誌は全国誌レベルとみなす。

- * peer review system があっても、依頼原稿など査読を受けていないものは除外する
- * 申請書提出時に **in press** となっているものは可とするが、投稿中のものは業績とはみなさない
- * 該当論文等の **全文の別刷または写し** を提出する

暫定指導医を新規申請する場合は、以下の条件にも合致すること

- ①筆頭著者もしくは correspondence author として記した論文が最低 1 編以上含まれていること
- ②患者さんに実際にがん化学療法を実施して得られた知見に基づく、がん薬物療法に関する論文が最低 1 編以上含まれていること。②は共著でも可

注意事項

臨床腫瘍学に関連した原著論文 について：

がん薬物療法に関する臨床研究/橋渡し研究と直接的関連がないものは不可とする。対象が悪性腫瘍でないもの、細胞株・動物実験を主としたもの、手術法、医療機器などの開発研究を目的としたもの、などの論文は、審査により差し替えを求められる場合があります。

全国誌 とは：

地域の団体やグループ（医師会報、病院誌など）が発行する雑誌ではなく、全国的に知られており、書店等で容易に入手可能な雑誌で、かつ peer review system を有するもの。

in press の論文 を提出する場合：

論文全文に加えて、受付通知（通知がメールの場合はメールでも可）の写しを提出する。

但し、**正式な出版時期が認定予定日（申請翌年の 4/1）を過ぎるものは不可**。

別刷または写し：

掲載論文の別刷（返却不要の場合は原本も可）、または掲載誌の写しを指す。出版元サイトや検索サイト等のハードコピーでも構わないが、**出典が明示された全文を提出する。Abstract のみの申請は受理しない**。

申請者氏名および筆頭・Correspondence の記述部分をマーカー等でマークし、申請書に記載された番号を表紙に記載するなど、**判別を容易にしておくこと**。

筆頭論文・Correspondence として申請する場合は、その旨が記されていること。